

普及活動

○実施内容

- |                         |                                       |
|-------------------------|---------------------------------------|
| ①温湿度データ提供               | : 建築主                                 |
| ②温湿度測定データ取得に関する機器設置及び管理 | : 施工者                                 |
| ③データとりまとめ(毎月)           | : 事務局(青森県優良住宅協会、(一社)新木造住宅技術研究協議会青森支部) |
| ④データ検証                  | : あおりGX住宅ビルダーズ(事務局:青森県)               |

○測定内容

温度、露天温度、相対湿度、絶対湿度、VPD(全て15分単位でデータをエクスポートする)

○測定期間

1年間(移転した翌年度の4月から、翌年3月末まで、施工者は毎月各協会へデータを報告する)

○測定機器

- ①室内
- ・SwitchBot温湿度プラス(本体に68日間データ保存及びエクスポート可能)または、
  - ・SwitchBot温湿度(本体に36日間データ保存及びエクスポート可能)
- ②屋外
- ・SwitchBot防水温湿度計(本体に68日間データ保存及びエクスポート可能)

○測定箇所

設置後、写真を事務局へ提出してください。

(窓台の上など、日射が当たる場所は不可設置高さ: 床上1200mm程度(800mm~1600mm))

①室内 4か所

- ・居間
- ・主寝室
- ・2階子供寝室または2階居室
- ・脱衣所

②屋外 1か所

○SwitchBotの注意点

・建築主からの測定データの回収は自由。下記に例を示す。

- ①建築主がデータをエクスポートし、施工者に月1で提供
- ②建築主を訪問し、施工者がデータをエクスポートにより取得
- ③SwitchBot温湿度計プラスをSwitchBotハブ2に変更し、建築主または施工者がデータを取得(通信環境必要・遠隔取得可能)
- ④ミニハブを追加し、建築主または施工者がデータを取得(通信環境必要・遠隔取得可能)

・電池の消耗など初期不良が多いので、初期不良交換または電池交換スケジュール(2か月毎)を決めた方が良い

・各室に配置する前に同じ部屋に1時間ほど並べ、温度、湿度が共通になるように補正をする(設定→校正→温度補正または湿度補正)

○その他

・4日以上連続で失敗した場合は翌年同月再度取得すること(未実施は補助金返還措置になります)



SwitchBot温湿度計プラス



設置NG例(日射により影響大)